

# 水俣市

みなまた集うまち  
自然・歴史・文化を  
活かしたまちづくり

## 文化財保存活用 地域計画 概要版

2025



2034

M I N A M A T A

### ■ 文化財保存活用地域計画とは

文化財保護法第 183 条の 3 に基づく、市町村における文化財の保存と活用に関する総合的な計画です。市町村の総合計画の下に体系づけられ、文化財保護行政の中・長期的な基本方針を定めるマスタープランと短期的に実施する具体的な事業を記載する両方の役割を担います。

#### 1 計画作成の背景と目的

水俣市では、豊かな自然の中で生まれた多種多様な文化財が、市内の各地で地域の宝として受け継がれています。しかし、これらを取り巻く状況は、急速な過疎化や高齢化、市の財政の逼迫により、厳しい状態となっています。災害による文化財の損壊、本市の代表的な文化財である水俣市立蘇峰記念館の老朽化等も課題です。

本市では、これらの状況を改善するために水俣市文化財保存活用地域計画を作成しました。

この計画の推進による市民意識の向上や地域の誇りの醸成、また、文化財を適切に観光に活用することによる来訪者の増大が産業へ波及し、文化財の保存・活用の財源確保につながるだけでなく、さらに文化財が来訪者の目に触れ評価を受けることによる、市民の文化財の価値の再認識と誇りの醸成の好循環を作り出すことが、本計画の大きな目的です。

#### 2 計画の位置づけと計画期間

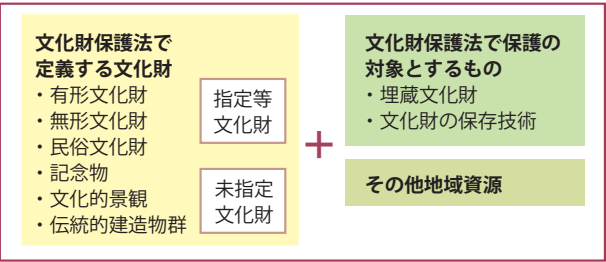
本計画は、文化財保護法に準拠し、熊本県の「熊本県文化財保存活用大綱」を勘案し作成しました。また、本市の上位計画である「水俣市総合計画」を踏まえるとともに、市の各種計画とも連携します。計画期間は令和 7（2025）年度から令和 16（2034）年度までの 10 年間です。

| 年度                     | 令和 7                     | 令和 8 | 令和 9             | 令和 10 | 令和 11 | 令和 12 | 令和 13            | 令和 14 | 令和 15 | 令和 16 |
|------------------------|--------------------------|------|------------------|-------|-------|-------|------------------|-------|-------|-------|
| 西暦                     | 2025                     | 2026 | 2027             | 2028  | 2029  | 2030  | 2031             | 2032  | 2033  | 2034  |
| 水俣市<br>総合計画            | 第 6 次 総合計画               |      | 第 7 次 総合計画（8 年間） |       |       |       |                  |       |       |       |
|                        | 第 2 期 基本計画               |      | 第 1 期 基本計画（4 年間） |       |       |       | 第 2 期 基本計画（4 年間） |       |       |       |
| 水俣市<br>文化財保存<br>活用地域計画 | 第 1 次 文化財保存活用地域計画（10 年間） |      |                  |       |       |       |                  |       |       |       |
|                        | 中間評価                     |      |                  |       |       |       |                  |       |       | 総合評価  |

水俣市文化財保存活用地域計画の計画期間

### 3 本計画の対象とする文化財と用語の定義

本計画では、文化財保護法に規定される物に限らず、本市の歴史文化、自然などの特徴を物語る様々な要素、地域で大切に継承されてきた、または日常的に親しまれている様々な資源についても計画の対象とし、これらの総称を「文化財」とします。



本計画の対象とする文化財

水俣市の指定等文化財一覧  
(令和6年<2024>8月1日現在)

| 類 型     |            |       | 国  |    | 県  | 市  | 合計 |
|---------|------------|-------|----|----|----|----|----|
|         |            |       | 指定 | 登録 | 指定 | 指定 |    |
| 有形文化財   | 建造物        |       | 0  | 1  | 0  | 1  | 2  |
|         | 美術工芸品      | 絵画    | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  |
|         |            | 彫刻    | 0  | 0  | 0  | 7  | 7  |
|         |            | 工芸品   | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  |
|         |            | 書跡・典籍 | 0  | 0  | 0  | 5  | 5  |
|         |            | 古文書   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|         |            | 考古資料  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|         |            | 歴史資料  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 無形文化財   |            |       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 民俗文化財   | 有形の民俗文化財   |       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|         | 無形の民俗文化財   |       | 0  | 0  | 0  | 8  | 8  |
| 記念物     | 遺跡         |       | 0  | 0  | 2  | 3  | 5  |
|         | 名勝地        |       | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
|         | 動物・植物・地質鉱物 |       | 0  | 0  | 1  | 4  | 5  |
| 文化的景観   |            |       | 0  | 0  | -  | -  | 0  |
| 伝統的建造物群 |            |       | 0  | 0  | -  | -  | 0  |
| 合 計     |            |       | 0  | 1  | 3  | 30 | 34 |

### 4 目指す将来像とそれを実現するための方向性

本計画が目指す将来像は、次のとおりです。この将来像を実現するため、3つの方向性を掲げます。

## みなまた集うまち 自然・歴史・文化を活かしたまちづくり

#### 将来像のイメージ

本市の豊かな自然と、それが育んだ悠久の歴史・文化の価値や魅力を、市民の誰もが共有しています。それによって、市民の郷土への愛着や誇りが育まれ心を豊かにするとともに、多くの人が思いを一つにして、様々な立場から歴史文化と文化財の継承に関わっています。文化財は観光資源としても磨き上げられ、市外の人に地域の魅力を発信し、多くの人が集う活気にあふれています。

#### 将来像を実現するための方向性

#### 方向性1 学ぶ・知る

本市の豊かな自然と、それらが生んだ悠久の歴史文化の価値や魅力を調査研究し、保存・活用の基礎としていきます。また、その調査研究を可能にしていくための体制づくりを進めます。

#### 方向性2 守る・伝える

文化財の適切な保存に取り組むとともに、その保存に多くの人が思いを一つにして、様々な立場から関わりをもつ仕組みを作ります。また、近年多発している災害など、危機に備えた対策を行います。

#### 方向性3 活かす・誇る

文化財に関する学びや知る機会を様々な手段で充実させることで、郷土への愛着や誇りを育み、文化財の次世代への継承を図ります。また、様々な面での活用により文化財の魅力を向上し、地域の活性化を図ることで、皆がまた集う活気あふれたまちをつくります。

## 5 計画期間内の目標

今回の計画期間では、以下の目標を設定し、次の計画期間に発展させていきます。

- (1) 文化財の保存・活用の土台をつくる
- (2) 水俣市の歴史文化をみんなで知る

## 6 歴史文化の特性

歴史文化の特性は市町村に固有の歴史文化にまつわる地域的な特性であり、地域計画の記載事項になっています。本市の自然的・地理的環境、歴史的環境や文化財の概要から、歴史文化の特性を4つに整理しました。

### 「歴史文化の特性」の概略

#### 1 多彩な地形が生んだ自然環境豊かなまち

水俣市には海・山・川があり、これらが生む様々な風景、自然環境があります。豊かな自然が作る美しい風景は、私たちの生活を豊かにし、人々を惹きつけ、自然と触れ合うアクティビティも豊富です。



無田湿原

#### 2 自然と共に生き、再生するまち

水俣市には古くから人々が暮らしていましたが、地形的に稲作が難しいため、地形の開削などを行いこれに立ち向かいつつ、自然に敬意を払い生活してきました。近代に進出した工場により急速に発展しましたが、公害が発生し、そのため環境再生へ向けた有形無形の様々な取組が行われています。



白岩の棚田

#### 3 肥後と薩摩との境界・攻防のまち

水俣市は九州の北と南の文化の混ざり合う交流点でしたが、肥後と薩摩との国境になって以降、境界特有の宿命を負うことになりました。戦国時代には戦いにさらされ、江戸時代も肥後の防波堤的役割を担いました。そして日本最後の内乱、西南戦争でも県境一帯を中心に激戦地となりました。



北園上野古墳群（ひばりヶ丘）

#### 4 陸・川・海の道が通じるまち

水俣市は山地の標高が低く傾斜が緩やかで、また海に開けた交通の要衝です。人や物資の往来は旧石器時代から確認されます。近代以降は港湾や鉄道の整備が進みました。往来の道は時に戦の道ともなりましたが、物流の拠点に町場が栄え、多くの文化人が訪れたことから、徳富蘇峰・蘆花をはじめとした偉人を生む土壌が育まれました。



江戸時代の街道の配置

## 7 関連文化財群

関連文化財群とは、地域の多種多様な文化財を歴史文化の特性に基づくテーマやストーリーに沿って一定のまとまりとして捉えたものです。関連文化財群を構成する文化財を総合的、一体的に保存・活用していきます。本計画では、全体のストーリーを通じて、本市の歴史文化をわかりやすく伝えるため4つの関連文化財群を設定しました。今後、関連文化財ごとのパンフレット作成、文化財の調査・指定、周遊ルートの設定、イベントの開催、看板の設置などを行います。

### ア 水俣の地形が織りなす自然

山地には、それを生んだ溶岩の性質による独特な平坦な地形や滝があり、海岸部にはリアス海岸や小規模な湾が連なり、湧出する豊かな水が流れる川があります。海岸部と山間部にそれぞれ温泉があります。

これらの地形が織りなす様々な風景、自然環境、息づいている貴重な動植物、時にもたらされる災害の痕跡からなる文化財群です。

構成文化財



キイレツチトリモチ（袋）



ヘゴ（袋）



妻恋岩（恋路島）

・湯の鶴温泉、湯の児温泉、水俣大滝、無田湿原など

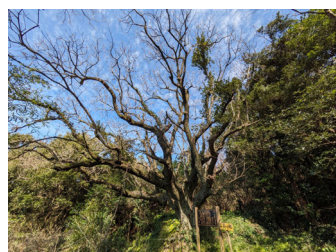
### イ 自然と生きる水俣の営み

自然の恵みを得て旧石器時代から始まった本市の暮らしと、山地が多く地形的に稲作が厳しい中で、耕地を得るために地形を切り拓いた人々の努力の痕跡、地形を生かし営んできた産業、また、その苦労の中で生まれた自然に対する畏敬に関する文化財群です。公害からの環境復元事業により新しく創出された場所を含みます。

構成文化財



久木野校区の棚田（久木野）



宝暦ハゼ（侍）



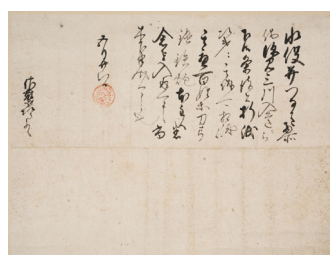
塩釜神社（塩浜町）

・石飛遺跡、南福寺貝塚、宝川内臼太鼓踊り、エコパーク水俣一帯の景観など

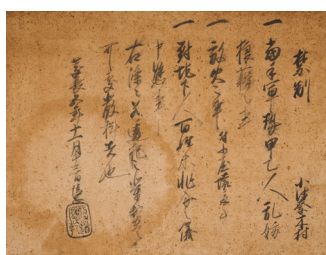
### ウ 肥後国境の守りと結び

古くから様々な道が通じた交通の要衝であると同時に、緊張が生まれる場でもあり、戦乱の時代から江戸時代を通じて、薩摩側からの侵攻の波を防御する防波堤の役割を担った本市の特性を表す文化財群です。他地域との交流、薩摩、南九州と接することで生まれた文化財を含みます。

構成文化財



豊臣秀吉朱印状（市資料）



加藤清正禁制（市資料）



水俣城址（古城）

・薩摩街道、境橋、袋棒おどり、陣内官軍墓地など

## エ 水俣が生んだ偉人の足跡

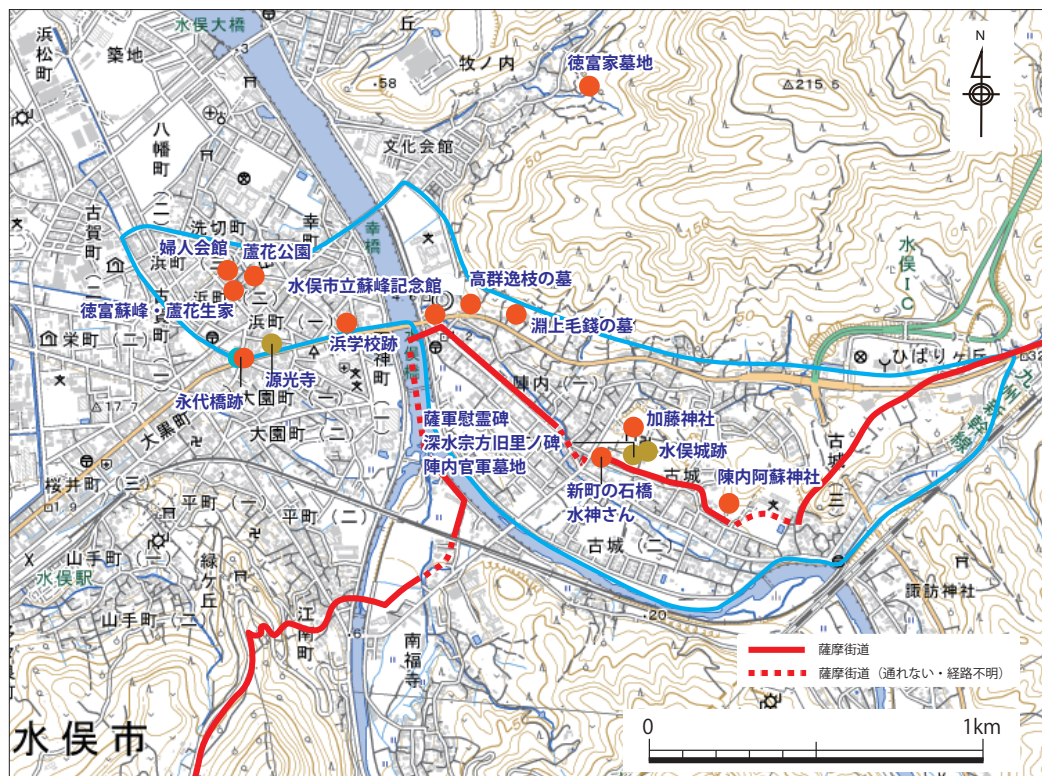
[illegible]

清音橋 (湯出)

## 8 文化財保存活用区域

【古城・陣内・浜地区の概要】

薩摩街道に沿って、古城、陣内、また河川改修前まで本市の人流・物流の拠点であった浜町に展開します。城跡、街道とそれに付随する石橋、町家などからなります。



文化財保存活用区域「古城・陣内・浜地区」の主な文化財

## 9 アクションプラン（保存・活用に関する措置）

| 将来像<br>みなまた集うまち<br>自然・歴史・文化を活かしたまちづくり | 方向性    | 課 題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 保存・活用に関する方針                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                       | 学ぶ・知る  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査が不足している文化財の種類の計画的な把握調査</li> <li>・文化財の指定につながる計画的な個別調査、文化財の価値を明らかにする調査</li> <li>・住民の負担にならない形で、文化財の所在情報を把握できる取組の実施</li> <li>・専門的な職員の継続的な配置とスキルの向上とノウハウの継承を配慮した人員配置、研究機関の支援</li> <li>・市史をはじめとした既存の把握調査や個別調査の資料の整理・公開</li> <li>・資料の閲覧環境の整備</li> <li>・各種調査成果の収集</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | <b>調査研究の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査の実施</li> <li>・調査を可能にする体制づくり</li> <li>・調査成果の保存と公開の促進</li> </ul>                                                                       |
|                                       | 守る・伝える | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の情報を整理し指定していくことが必要</li> <li>・指定等文化財の定期的な現状把握及び把握された課題に対する措置の実施</li> <li>・水俣市立蘇峰記念館、徳富蘇峰・蘆花生家の保存活用計画の策定</li> <li>・民俗芸能の映像記録などのデジタル媒体による保存</li> <li>・所有者、保存団体の負担軽減措置</li> <li>・指定等文化財の日常的な管理など、新たな文化財の見守り、担い手の確保</li> <li>・徳富蘇峰・蘆花生家に、左官技術が必要</li> <li>・薩摩街道、未指定文化財の保護制度の検討</li> <li>・絵画、古文書、民具などの整理とリスト作成</li> <li>・資料の受入れのルールづくり、保存環境の整備</li> <li>・文化財の被災・盗難等の発生を想定した情報把握に努める体制の構築</li> <li>・施設の耐震化や防火を踏まえた対策工事</li> <li>・文化財が被災・盗難された場合に備えた記録の作成</li> <li>・防災意識の向上及び市の文化財保存整備費補助金の見直しによる防火施設・防災設備の充実</li> <li>・文化財の一時保管場所の設定や、災害対策マニュアルの作成</li> <li>・水俣城址、薩摩街道やその他の指定等文化財や、それに付随する看板などの日常点検及び災害に備えた対策</li> <li>・防災関係者などとの文化財の所在の共有</li> </ul> | <b>文化財の確実な保存と継承</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の指定</li> <li>・文化財の適切な管理</li> <li>・保存を持続可能にする体制づくり</li> <li>・未指定文化財の保存方針の策定</li> <li>・資料の保存</li> <li>・文化財の防犯・防災対策の推進</li> </ul> |
|                                       | 活かす・誇る | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の価値の周知、文化財の情報発信の充実</li> <li>・発掘調査の成果の公表と、成果を分かりやすく伝える資料の作成</li> <li>・市指定文化財、民俗芸能を公開する機会の拡充</li> <li>・歴史文化に関する講座等の開催</li> <li>・子どもや親子などの若い世代に文化財を身近に感じてもらう取組</li> <li>・文化財看板等の更新、新規設置</li> <li>・文化財の価値をわかりやすく伝える整備や、便益施設の整備</li> <li>・整備方針の検討</li> <li>・水俣市立蘇峰記念館、徳富蘇峰・蘆花生家は、施設の特色を活かし、より多くの人々が訪れ地域振興に貢献できる保存・活用の検討が必要</li> <li>・市の展示公開施設の連携により本市の歴史文化を伝える施設として相乗効果を高め情報の一元化や活用を図る</li> <li>・市の歴史文化を常設で展示する資料館の設置や手法の検討</li> </ul>                                                                                                                                                                                                              | <b>公開活用の促進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の公開の促進</li> <li>・文化財の継承を担う人材の育成</li> <li>・文化財の整備</li> <li>・文化財の新たな活用の推進</li> <li>・新たな展示公開施設設置の検討</li> </ul>                         |

| 保存・活用に関する措置（施策）                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1-1 把握調査の実施<br>1-2 文化財の調査<br><br>1-3 地域の力を取り込む体制づくり<br><br>1-4 人員体制の確保、研究機関との連携強化<br>1-5 調査資料の保存と外部の利用に供する体制づくり                                                                                                                                                                                     | 把握調査の実施<br>文化財指定のための個別の調査<br>価値を明らかにする調査（水俣城址）<br>価値を明らかにする調査（その他）<br>イベントなどによる文化財の把握調査<br>定期的な情報収集と窓口づくり<br>専門性が維持される人員配置と育成<br>研究機関との連携<br>調査資料のリスト化・公開<br>閲覧環境の整備（水俣市立蘇峰記念館）<br>各種の調査成果の収集・公開                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |  <p>1-4 大学による文書調査</p>    |
| 2-1 文化財の指定<br><br>2-2 適切な保存対策<br><br><br>2-3 所有者や保存団体の負担軽減・支援<br>2-4 保存体制の強化、新たな見守り・担い手の確保<br><br>2-5 文化財の保存技術の継承<br>2-6 未指定文化財の保存方針の策定<br><br>2-7 資料の保存<br><br>2-8 災害・盗難リスクの把握と情報収集体制の構築<br>2-9 事前対策の推進<br><br>2-10 防災意識の向上と、防災・盗難対策への支援<br>2-11 災害時の対応<br><br>2-12 文化財の災害対策<br><br>2-13 文化財の所在の周知 | 文化財指定候補リストの作成<br>文化財の新規指定<br>定期的な現状把握・管理<br>指定等文化財の保存処理などの実施<br>水俣市立蘇峰記念館の耐震診断、保存活用計画作成、これに基づく工事<br>徳富蘇峰・蘆花生家保存活用計画作成、これに基づく工事<br>民俗芸能の記録の作成<br>保存に関する助言や補助金交付要綱の改正による補助制度の充実<br>地域への文化財の所在の周知<br>管理のアドプト制度導入（市が管理する指定文化財）<br>文化財の見守り体制の構築<br>建造物の保存修理工事の地元業者への発注を通じた技術の習得・継承<br>薩摩街道の保存方針の検討<br>薩摩街道の保存工事などの実施<br>未指定文化財を認定する制度の検討<br>資料整理・リスト化<br>受入基準の作成<br>保存環境の整備<br>文化財ハザードマップの作成<br>連絡体制の構築<br>耐震化・防火を踏まえた保存活用計画の作成（水俣市立蘇峰記念館、徳富蘇峰・蘆花生家）と、上記に基づく対策工事などの実施<br>文化財の記録（規模・形状・特徴など）<br>文化財防火デーなどの訓練実施<br>防災・盗難対策支援のための補助要綱整備<br>被災文化財、文化財の一時保管場所の設定<br>災害対策マニュアルの作成<br>文化財、看板・標柱の日常点検、看板・標柱の更新<br>保存・養生工事の実施（水俣城址）<br>保存・養生工事の実施（薩摩街道、指定樹木）<br>文化財リストの作成と各関係者との共有<br>指定等文化財・埋蔵文化財包蔵地の庁内での共有 |  <p>2-2 市指定樹木の枯枝剪定</p> |
| 3-1 情報の公開、発信力の強化<br><br>3-2 調査成果を速やかに活かす、発信するサイクルづくり<br>3-3 公開の促進<br><br>3-4 歴史文化を知る機会の充実と人材の育成<br>3-5 次世代の育成<br>3-6 文化財をわかりやすくする<br>訪れやすくする整備<br>3-7 文化財に新たな役割を付加する取組、他の魅力ある資源と連携した文化財の活用<br>3-8 展示公開施設のネットワークづくり<br>3-9 新たな展示公開施設設置の検討                                                            | 講座・体験活動・資料の展示<br>パンフレット、リーフレットの発行及び改訂<br>先端技術を活用した情報提供の検討<br>他の機関などと連携した情報発信<br>適切な事業管理<br>調査成果をわかりやすく伝える資料の作成<br>指定有形文化財の公開機会の提供<br>民俗芸能の公開機会の提供<br>外部有識者や担当職員による講座などの開催<br>ボランティアガイドの育成<br>学校での普及活動の実施<br>子ども・親子を対象とした講座や体験教室の実施<br>看板などの更新、新規設置<br>文化財の整備、便益施設などの整備（水俣城址、陣内官軍墓地）<br>文化財の整備、便益施設などの整備（その他）<br>周遊ルートの設定<br>関係機関との連携強化、イベントの実施<br>横断的に情報を提供できる窓口づくり<br>水俣市立蘇峰記念館、徳富蘇峰・蘆花生家の保存活用計画に基づく整備<br>共通パンフレットの作成や周遊ルートの設定<br>資料の情報一元化、相互活用<br>市の資料を収蔵し、常設で展示公開する施設設置の検討                                                                                                                                                                                                                  |  <p>3-1 発掘調査成果の展示</p>  |

## 10 優先的・重点的に行う事業

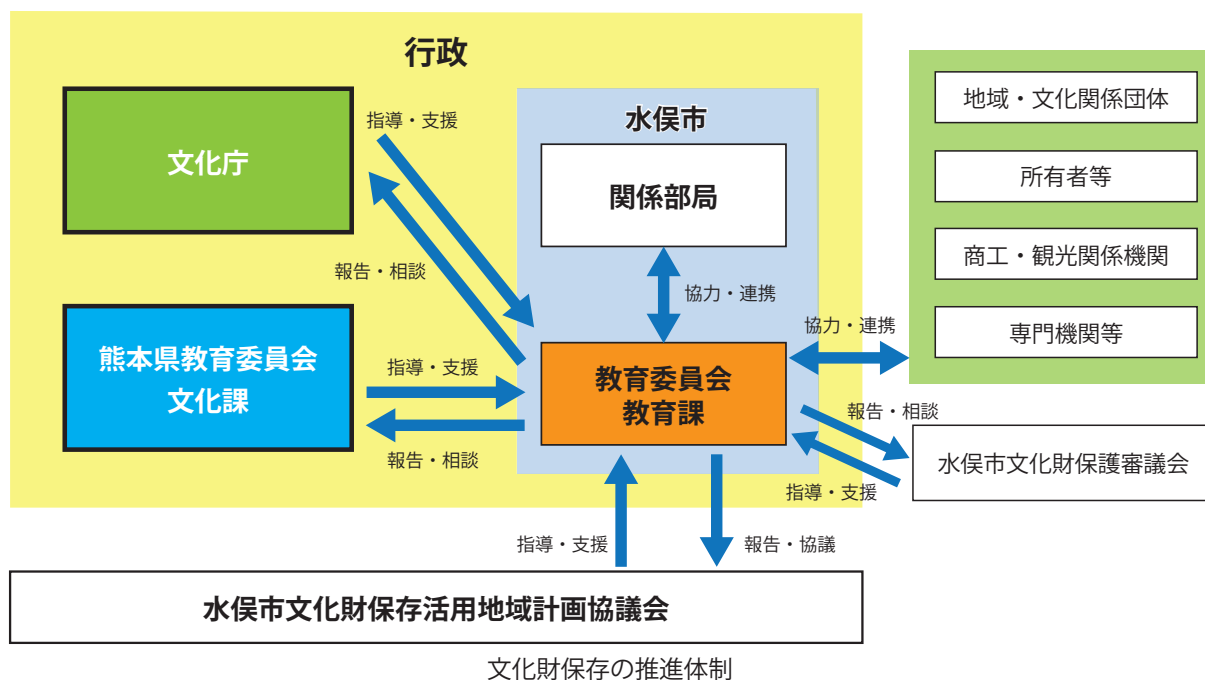
9に掲げた措置のうち、以下の措置は重点的かつ優先的に実施します。

災害に備える措置 水俣市立蘇峰記念館、徳富蘇峰・蘆花生家に関する措置

民俗芸能の継承に関する措置 歴史文化の情報発信に関する措置 水俣城址に関する措置

## 11 文化財の保存・活用の推進体制

文化財の保存・活用をより効果的に推進していくためには、行政、所有者や地域住民、関係団体などの力を結集して、総合的に取り組んでいく必要があります。そのため、文化財の保護に携わる職員の確保、庁内及び庁外の機関、学習機会の提供に関する機関、文化財の所有者等保存団体、地域・文化関係団体との連携を図り、計画を推進します。また、計画の推進及び進行管理のため水俣市文化財保存活用地域計画協議会を設置します。



SDGs 未来都市  
みなまた

### 【本計画と SDGs】

水俣市は令和2年7月に「SDGs 未来都市」に選定されました。文化財の保存・活用においても、都市としての発展や経済成長と文化財の継承を両立し、継続可能な取組を行っていきます。

### 水俣市文化財保存活用地域計画【概要版】

編集・発行 水俣市教育委員会

令和6年12月

〒867-8555 熊本県水俣市陣内1丁目1番1号

TEL: 0966-61-1639 FAX: 0966-63-9502

E-mail: syogai@city.minamata.lg.jp



Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金

○この計画は水俣市ホームページに掲載しています。